

第8回月例会

本拠点の第8回月例会が平成29年1月27日15:00より国立民族学博物館内で開催されました。総研大院生2名を含む5名が出席し、本拠点構成員である齋藤玲子准教授が「アイヌにとってのタマサイ（玉の首飾り）―物質文化研究の可能性」と題して発表を行いました。アイヌのタマサイとして知られる玉の首飾りについて、素材やサイズの歴史的な変遷、記録や表象、そして本州を含めた外部世界とのつながりが示されました。口承文芸との関係、観光資源の可能性、歴史や他の北東アジア地域との比較にまで議論が及びました。

